

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年 3月 15日

事業所名 こども相談室てんとうむし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	1	運動をするには狭い。順番にやらせているが時間がかかる。 広さとしては、基準上、適切であるが、運動など、広いスペースが使いたい場合は、地区の学供や、体育室を借りて活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1		適切に配置しているが、バタバタとしてしまう時があるため、余裕を持って支援できる体制づくりをしていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	7	3		完全バリアフリーではない。歩行が困難さのある児が利用する際には、能力に合わせた必要な支援をするようにしている。 トイレに手すりがないので来年度設置する予定。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1		できるだけ多くのスタッフの参加が出来るように日程調整をし、活動内容別のミーティングもおこなっている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	10			保護者の事業所評価の内容を検討する会議を実施し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	7	3		自己評価結果は、ホームページにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	4	第三者評価は実施していない。まずは、自己評価から出てきた改善点を改善していきたい。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	1	事業所内研修を必要に応じて行い、外部研修についても、職員の希望や、必要に応じて勤務日を調整し、参加してもらっている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			アセスメントの様式に従って、保護者から話を聞き、担当スタッフと検討し作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2		標準化されたアセスメント様式を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			スタッフそれぞれの得意分野を生かしながら、チームでプログラムを考えるようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1		年間活動計画の内容を、微細運動・粗大運動・学習・生活自立技術・親子関係と分けて考え、子どもの状況に合わせ、バランスよく工夫して取り入れるようにしている。

放課後等デイサービス

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	10			平日の放課後活動は学習中心、休日は微細運動・粗大運動・生活自立技術を取り入れ、工夫しながら課題を決めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			子どもの状況と保護者の意向を併せて、個別的活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		開始前 15 分程の時間で打ち合わせしている
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1		終了後、15分程の時間で打ち合わせしているが、時間のない場合は、次の支援の開始前に合わせて行うこともある。職員間での打ち合わせは出来なくても、共有すべきことは、忘れないよう記録に残すようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			毎回、目標設定をし、それに基づき記録を書くことで支援の振り返りをし、次回につなげている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			モニタリングを定期的に行い、目標の達成度合いを確認するようにし、支援や計画の見直しについて検討している。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	2		年間計画・月間計画を立て、複数の活動を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1		子どもの理解をしている担当スタッフが参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	1		送迎をやっていないので、送迎に関わる情報共有はおこなっていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2	2	現在、対象の児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	2	同法人内で児童発達支援から利用していた児童については、情報共有できているが、それ以外の園や事業所とは共有できておらず、保護者から話を聞くようにしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	2	相談支援事業所と情報は共有しているため、移行の際には情報が提供されていると思われるが、直接の情報の提供はおこなっていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	1	町の事業所連絡会が主催する研修に出来るだけ参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	3	普通学級在籍の児童や支援学級在籍でも交流級での交流をしている児童が多いため、意識して機会を作っていない。例年地域のまつりへの出店や、客としての参加はしているが今年度は新型コロナウイルス感染症の流行があり、できなかった。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	6	1	町内の事業所連絡会議に参加している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			保護者に送迎してもらっているため、送迎時に情報共有するようにしている。定期的にセミナーや療育内容の説明を行い、共通理解を持てるように努力している。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	9	1		年2回、親子学習週間を作り、親子で家庭学習に取り組み、家庭での子どもとの関わり方の支援をしている。日頃から、頑張り表を用いて、家庭での生活の流れや、生活自立技術が身についていくよう支援している。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			契約時に重要事項説明書を用いて説明している。
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			送迎時などに保護者と情報交換をし、助言・相談に応じている。また、必要であれば、別の日に時間を作り、相談に応じている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	1	父母の会や、保護者会は作っていないが、グループ活動での保護者支援として、子どもの様子について話し合う時間を作ったり、親子でマラソン大会に参加するなどしている。活動を通して、保護者同士の関係ができてきている。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			マニュアルや記録様式を使い対応している。マニュアルは閲覧できるように配置しているが、あまり周知されていないため、今後もっと周知していく。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			年2回、てんとうむし通信を発行し、行事予定や活動の様子を伝えている。事業所の入り口付近の掲示スペースを利用し、活動内容の写真の掲示や、連絡事項を掲示するようにしている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	10			個人情報保護方針に従い、実施している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			子どもや保護者の必要に応じて、視覚にわかる提示や、個別の声掛けなど適切な配慮をするようにしている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	4	2	4	例年、地区の学共を使って行事を行ったり、町のふれあいまつりへの出店は行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行がありできなかった。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			事故発生対応マニュアル・健康・衛生管理マニュアルを策定し、年度ごとに見直している。防犯マニュアルはないため、策定する。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			年2回避難訓練月間をつくり、行っている。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			虐待防止マニュアルを作成し、職員研修を行っている。

放課後等デイサービス

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			原則として身体拘束は行わないが、身体拘束その他の行動制限を実施しなければならないと思われる子どもには、保護者に書面で伝え、同意を得ている。身体拘束をした時は、緊急やむを得ない身体拘束に関する記録に記入している。3ヵ月ごとに検討会議を実施している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	2	アレルギーについては、フェイスシートで把握をしているが、対応が必要な場面は今のところない。必要な場合は、医師の指示書に基づき対応するようになりたい。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1		今年度、ヒヤリハット報告書を作り、軽度事故が起こった時に記入するようになっている。

※④③④④④⑤④⑦未記入1 ④②未記入2